

愛媛県重信川で採集されたチゴイワガニ

山川宇宙¹・鎗田めぐ²・乾 直人³・清水孝昭⁴

¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

²広島大学大学院統合生命科学研究科

³東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所

⁴愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Ilyograpsus nodulosus* チゴイワガニ
(TKPM-AR 3126)

種の記録

Macrophthalmidae オサガニ科

Ilyograpsus nodulosus (Sakai, 1983)

チゴイワガニ(写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本(TKPM-AR) 3125–3129, 5 個体, 甲長 2.8–7.0mm, 甲幅 3.0–7.8mm, 重信川河口域(愛媛県松山市西垣生町:北緯 33 度 48 分 26 秒, 東経 132 度 41 分 21 秒), 2023 年 2 月 5 日, 山川宇宙・鎗田めぐ採集.

種の特徴

上記 5 個体は, 甲は円に近い形であり, 複数の隆起がある, 前側縁には眼窩外歯を含めて 4 歯を有する, 指部先端はカップ状をなすなどの特徴を持ち, 岸野ほか(2001)および三浦(2008)のチゴイワガニの標徴と一致したため, 本種と同定された.

備考

本種は千葉県および島根県隠岐諸島から琉球列島にかけて記録されている(三浦, 2008; 和田, 2012; 乾

ほか, 2021; 大澤, 2022). 愛媛県では宇和海側の僧都川から記録されているが(環境省自然環境局 生物多様性センター, 2007), 標本の有無は不明である. 本報告は, 本種の同県瀬戸内海側における初記録であると同時に, 標本に基づく同県初記録になる.

引用文献

乾 直人・山川宇宙・碧木健人・是枝伶旺. 2021. 2019 年 9 月以降に相模湾およびその周辺地域から採集された注目すべきカニ類 7 種. 神奈川自然誌資料, (42):135–141.

環境省自然環境局 生物多様性センター. 2007. 第 7 回 自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査) 業務報告書. 環境省自然環境局 生物多様性センター, 富士吉田. 236pp.

岸野 底・米沢俊彦・野元彰人・木邑聡美・和田恵次. 2001. 奄美大島から記録された汽水産希少カニ類 12 種. 南紀生物, 43(1):15–22.

三浦知之. 2008. 干潟の生きもの図鑑. 南方新社, 鹿児島. 197pp.

大澤正幸. 2022. 島根県の汽水域の短尾甲殻類 日本海西部の汽水域のカニたち. 島根大学研究・学術情報本部エスチュアリー研究センター, 松江. 85pp.

和田恵次. 2012. チゴイワガニ. 日本ベントス学会(編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野. 211.

(2023 年 2 月 15 日受付, 2023 年 2 月 18 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com)
(Uchu Yamakawa, Meg Yarita, Naoto Inui and Takaaki Shimizu. 2023. Record of the Macrophthalmid Crab *Ilyograpsus nodulosus* from the Shigenobu River in Ehime Prefecture, western Japan. NS Fieldnote, 23005)